

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立新池中学校 第3学年、全生徒
実施生徒数（ 187人 ）

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び数学。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ中位層がやや少ない傾向が表れている。

平均正答率（本校 77.0／泉佐野市 75.7／大阪府 77.0／全国 79.4）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ中位層がやや少ない傾向が表れている。

平均正答率（本校 45.2／泉佐野市 44.7／大阪府 47.2／全国 51.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○目的に沿って話し合い、互いの発言を検討することに課題がある。 6ー 二人の発言を聞いて、意見の相違点を整理する。(46.0/54.3)</p> <p>【書くこと】 ○心情が相手に効果的に伝わるように、描写を工夫して書き加えることに課題がある。 2ー 主人公の気持ちの変化にふさわしい空の描写として適切なものを選択する。(84.5/90.9) ○集めた材料を分類するなどして整理することは概ねできている 4ー ウェブページの項目として適切なものを選択する。(92.5/92.6) ○多様な方法で材料を集めながら考えをまとめることに課題がある。 7ー 文章を書くために使った付箋として適切なものを選択する (77.0/84.6)</p> <p>【読むこと】 ○登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解することは概ねできている。 3ー 主人公が「素通りが出来なくなる」と思った理由として適切なものを選択する。(90.4/91.9)</p> <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。 8ー 1 漢字を書く（地域の人をショウタイする）(51.3/57.6)</p>	<p>○文脈に即して漢字を正しく読むことに課題があるものがある。 8二1 漢字を読む（アユの稚魚を放流する）(67.4/77.0) 8二2 漢字を読む（このホールは音響効果が良い）(94.1/88.6) 8二3 漢字を読む（新記録に挑む）(93.6/95.2) ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは概ねできている。 8三イ 適切な語句を選択する（先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておこう）(94.7/96.2) 8三オ 適切な敬語を選択する（お客様、私が校内をご案内します）(95.2/93.0) 8三キ 適切な語句を選択する（忙しい兄は、休日にのびのびと羽を伸ばす）(92.5/92.1) ○辞書を活用して、語句の意味を適切に書くことに課題がある。 8四 国語辞典で調べたことを基に、語句の意味を書く（英気を養う）(53.5/59.9) ○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。 8五1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（まうけて）(69.5/80.3) ○文字の大きさ、配列などに注意して書くことに課題がある。 8六 文字を書く際に生かしたアドバイスとして適切なものを選択する (71.7/77.6)</p>

国語B	特徴がみられた設問	
<p>【書くこと】</p> <p>○文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>1 三 ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く (38.5/48.2)</p> <p>○資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。</p> <p>2 三 水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く。(24.6/28.4)</p> <p>○落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3 三 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く。(36.9/46.5)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○文章に表れているものの見方について、自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p>1 二 標語から伝わってくるメッセージを書く際に気を付けたこととして適切なものを選択する。(47.1/58.9)</p> <p>○複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題がある。</p> <p>2 一 本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する。(31.6/31.4)</p> <p>○複数の資料から必要な情報を読み取ることに課題がある。</p> <p>2 二 本やインターネットの内容から答えが得られるものとして適切なものを選択する。(51.9/60.9)</p> <p>○本や文章から、目的に応じて必要な情報を読み取ることに課題がある。</p> <p>3 一 演者が顔を向ける方向として適切なものを選択する(46.5/52.0)</p>	

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	51.3	58.2	◇	6.9
国語の勉強は大切だと思いますか	86.0	89.0		3.0
国語の授業の内容はよく分かりますか	67.3	72.0		4.7
読書は好きですか	49.7	69.4	○	19.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	80.9	82.5		1.6
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	48.7	56.1	◇	7.4
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか	35.8	49.1	○	13.3
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	41.4	60.3	○	18.9
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	57.0	67.5	○	10.5
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	62.2	70.4	◇	8.2

○「読書が好き」と答えた生徒の割合が昨年度と比較すると減少している。(H25 : 55.4)

この結果から、学校全体として生徒の読書に対する意識を高めるような取り組みが必要である。

- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか」という質問に対する肯定的な答えの割合が昨年度と比較すると減少している。(H25 : 72.7)
この結果から、生徒の学びに対する意識を向上させる取り組みが必要である。
- 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」という質問に対しての肯定的な答えが、今年度大きく増加している。(H25 : 35.0)
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか」という質問に対しての肯定的な答えが、今年度大きく増加している。(H25 : 26.9)
- 「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を理解しながら読んでいますか」という質問に対しての肯定的な答えが増加している。(H25 : 53.6)

以上の3項目の結果から、学校全体の取り組みとして行ってきたことが、生徒たちにとって効果的であったことが分かる。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多い。
平均正答率(本校 64.8/泉佐野市 62.8/大阪府 65.0/全国 67.4)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ中位層がやや少ない。
平均正答率(本校 55.7/泉佐野市 54.9/大阪府 56.9/全国 59.8)

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学A	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○分数の除法の計算をすることは、概ねできている。 1 (1) $3/4 \times \div 5/6$ を計算する。(86.6/85.8)</p> <p>○指数を含む正の数と負の数の計算をすることは、概ねできている。 1 (2) $2 \times (-5)^2$ を計算する。(78.6/70.7)</p> <p>○絶対値の意味を理解することは、概ねできている。 1 (3) -7 の絶対値を書く。(86.6/81.0)</p> <p>○正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解することは概ねできている。 1 (4) 35を基準にして38を正の数で表す。(90.4/91.1)</p> <p>○数量の大小関係を不等式に表すことは、課題がある。 2 (1)「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く。(35.8/45.2)</p> <p>○単項式どうしの除法の計算は概ねできている。 2 (2) $10xy \div 5x$ を計算する。(90.4/90.7)</p> <p>○指数を含む文字式に数を代入して式の値を求めることは概ねできている。 2 (3) $a=2, b=3$ のときの式 ab^2 の値を求める(84.0/82.6)</p> <p>○数量を文字式で表すことは概ねできている。 2 (4) 男子 m 人と女子 n 人が1人2個ずつ持った風船の合計数を、m と n を用いて表した式を選ぶ。(90.4/90.7)</p> <p>○等式の性質と移項の関係を理解することは概ねできている。 3 (1) 一元一次方程式を解くとき、移項が行われている式変形として正しいものを選ぶ(85.6/89.7)</p> <p>○着目する必要がある数量を見だし、その数量</p>	<p>○空間における直線と平面の平行について理解することは、概ねできている。 5 (1) 直方体の1つの面の対角線を含む直線と平行な面を書く。(89.3/81.0)</p> <p>○平面図形をその面と垂直な方向に平行に移動させたときの、空間図形の構成について理解することに課題がある。 5 (2) 三角形をそれと垂直な方向に一定の距離だけ平行に動かしてできる立体の名称を選ぶ。(79.7/84.8)</p> <p>○底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解することに課題がある。 5 (4) 円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ。(29.9/38.7)</p> <p>○記号で表された図形の構成要素間の記号を読み取ることにより課題がある。 6 (1) 長方形 ABCD において、$AC=BD$ が表す性質を選ぶ。(50.8/61.7)</p> <p>○n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味を理解することに課題がある。 6 (3) n 角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、$(n-2)$ が表すものを選ぶ (41.2/47.8)</p> <p>【関数】</p> <p>○関数の意味を理解することに課題がある。 与えられた表を基に、宅配サービスの重量と料金の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する。(31.0/35.8)</p> <p>○反比例の意味を理解することに課題がある。 10 (2) 反比例の性質を表した記述を選ぶ。(69.0/75.9)</p> <p>○反比例について、グラフと表を関連付けて理解することに課題がある。 10 (4) 反比例のグラフを表から選ぶ。(39.6/45.7)</p>

<p>に着目し、連立二元一次方程式をつくること課題がある。</p> <p>3 (3) 連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す。(68. 4/74. 1)</p> <p>【図形】</p> <p>○対称軸が与えられたときに、線対称な図形を完成することは概ねできている</p> <p>4 (1) 線対称な図形を完成する。(93. 6/93. 8)</p> <p>○図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることに課題がある。</p> <p>4 (3) 与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ。(39. 6/42. 5)</p>	<p>○一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題がある。</p> <p>11 (1) 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。(42. 2/47. 3)</p> <p>○一次関数 $y=ax+b$ について、a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解することに課題がある。</p> <p>11 (2) $y=3x-4$ のグラフを選ぶ。(70. 1/75. 1)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○度数分布表から相対度数を求めることに課題がある。</p> <p>13 (1) 生徒 60 人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。(33. 2/42. 7)</p>
--	--

数学B	特徴がみられた設問
<p>【図形】</p> <p>○日常的な事象を表した図を観察し、空間における位置に関する情報を適切に読み取ることが概ねできている。</p> <p>1 (2) 外からの校舎を見た図で、案内図に示された非常口の位置を選ぶ。(90. 9/92. 8)</p> <p>○事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することに課題がある。</p> <p>1 (3) 図形の性質を用いて、横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する。(54. 0/60. 6)</p> <p>○図形の性質を、構想を立てて証明することに課題がある。</p> <p>4 (1) 2つの線分の長さが等しいことを証明する (35. 3/39. 4)</p> <p>○付加された条件の下で、証明を振り返って考え、事柄を用いることに課題がある。</p> <p>4 (2) $\angle BAC = 110^\circ$, $BD = AD$ のとき、$\angle DAE$ の大きさを求める (17. 6/23. 3)</p> <p>【関数】</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることが概ねできている。</p> <p>3 (1) 与えられた表やグラフから、人数が24人のときに6.0秒かかったことを表す点を求める。(81. 3/87. 5)</p>	<p>○事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>3 (2) 大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の特徴を説明する。(52. 9/62. 3)</p> <p>○グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することに課題がある。</p> <p>6 (3) 兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する。(25. 7/29. 9)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することに課題がある。</p> <p>5 (1) スティックゲームの遊び方を基に、1本表、3本裏のときの得点を求める。(69. 5/79. 7)</p> <p>○不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することに課題がある。</p> <p>5 (2) 1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する。(25. 7/32. 1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	56.0	56.6		0.6
数学の勉強は大切だと思いますか	80.4	82.1		1.7
数学の授業の内容はよく分かりますか	71.5	71.5		0
数学ができるようになりたいと思いますか	90.7	91.3		0.6
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	67.4	70.3		2.9
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	31.1	40.9	◇	9.8
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	65.3	71.4	◇	6.1
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	60.6	67.4	◇	6.8
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	64.2	70.0	◇	5.8
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	78.8	80.0		1.2
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	50.8	57.7	◇	6.9

- 「数学の授業の内容はよく分かりますか」という質問に対して肯定的に答えた生徒の割合は、昨年度よりもさらに上回り全国平均に並ぶ結果となった。(H25 : 68.2)
- 「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか」という質問に対して肯定的に答えた生徒の割合は、昨年度を上回るものとなった。(H25 : 45.5)
- 「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」という質問に対して肯定的に答えた生徒の割合は、昨年度と比べると上回っているがまだ課題が残る。(H25 : 28.1)
- すべての項目で、昨年度と比べるとほぼ同程度または、上回るという結果となった。
授業に関する項目では、肯定的に答えた生徒の割合が依然として全国と差があるので、今後も目的意識を持って着々と授業研究を深めていく。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 <本校回答率/全国回答率>
【家庭生活の様子】	あまり食べていないと回答した生徒の割合が大きい。 携帯電話・スマートフォンの使用時間が長い生徒の割合が大きい。	○朝食を毎日食べていますか <86.1/93.5> ○普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） 4時間以上の使用 <17.6/11.0> ○普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 4時間以上の使用 <17.6/11.0>
【家庭学習の様子】	全体の4割以上が3時間以上と回答していることから、非常に学習に前向きな生徒が多いと言える。 マイチャレンジ（自学自習ノート）の取り組みが定着している結果と言える。	○学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日あたりどれくらいの時間、勉強していますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 4時間以上勉強している <20.2/10.4> ○家で、学校の宿題をしていますか <88.6/88.2> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <48.2/50.4>
【学校での学習の様子】	授業の中で、教科指導の仕方や教具の使い方を工夫してきた結果と言える。 本校教育活動の中において、達成感を味わえる状態にある。 課題はあるものの、昨年度と比較すると大幅に改善している。 相手の話を聞く態度が十分に育成されていると考えられる。 校則を守り、落ち着いた雰囲気の中で学習できている。	○ <u>1、2年生のときに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか</u> <63.2/46.5> ○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか <91.2/93.9> ○ <u>生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか</u> <51.2/61.9> ○友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか <91.7/92.2> ○学校の規則を守っていますか <92.2/93.0>

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ・1, 2年生では朝の読書, 3年生では朝の学習を行っている。
- ・2年生では「基礎」の時間を週に1時間設定し, 学習内容の確認・復習を行うためのプリント学習を実施している。
- ・3年生では, まなびんぐサポート事業を活用し, 希望者に対して放課後学習を実施している。
- ・長期休業中には, 補充学習を全学年で実施している。
- ・1年生では, テスト前に補充学習を実施し, 全学年の教員で関わるとともに, 定期的に学年単位で希望者に対して補充学習を実施している。
- ・学力向上委員会が主催して, 学期ごとに「学びあえる仲間づくり」をテーマにした研究授業を実施し, その中で, 自分の意見を伝えるために「根拠」をつけて話すように指導している。
また, 教師同士の学びを高めるために模擬授業を実施し, 互いに授業力の向上を図っている。
- ・学力向上担当者が, 大阪府教育センターが主催している, 「校内研究ワーキンググループ」に参加し, そこで得た知識を校内研修で伝達講習している。
- ・教師の授業力向上のために, 言語技術教育に着目し, 校内研修を実施している。
- ・泉佐野市教育委員会主催の授業・保育づくり研修においても, 研究授業を実施している。
- ・家庭学習を定着させるために, 学年や学校全体でマイチャレンジ(自学自習ノート)の取り組みを行っている。
- ・情報教育の授業を実施し, スマートフォン・携帯電話の使用に関することについて学習している。
- ・6月にhyper-QUを実施し, その分析・検証を校内研修で行い, 本校の生徒の状況把握や理解に全職員が努めている。また, 生徒指導担当が毎年4月に生徒指導に関しての校内研修を実施し, 全職員が同じ方向性を持って指導できる環境を整えている。

◎これからの取組み

- ・11月から1年生でも「基礎」の時間を週に1時間設定する。
- ・1, 2年生でも週に1回, 朝の学習を実施する。その学習の際に, 大阪府教育委員会から配信されている「学習指導ツール」の中の「ワークシート」を積極的に活用する。
- ・大阪府教育委員会から配信されている「力だめしプリント」を活用し, 本校生徒の学習状況をよりの確に把握し分析する。その上で, 対策として同じく大阪府教育委員会から配信されている「単元別確認プリント」等を積極的に活用する。
- ・学力向上担当者が, 独立行政法人教員研修センターで行われた言語活動指導者養成研修に参加した。そこで作成した学校全体のアクションプランの取り組み内容を着々と実施する。
- ・情報教育を深めるために, 企業による講演会や授業を生徒指導委員会主催で予定している。
- ・2回目のhyper-QUを実施し, 生徒の状況がどのように変化したのかを校内研修で分析・検証し, 生徒一人ひとりの状況や学級の状態を的確に把握することにより生徒理解を深めながら, より適切な指導や対応につなげていく。